

なくなったことでした。乳幼児がウイルスとの遭遇で免疫を得る機会が減り小児期の後半以降に遅れ、麻痺性の感染が起りやすくなり、1940年～50年代には世界中で毎年50万人以上に麻痺や死をもたらしました。

ロータリーは1978年、東京でのロータリー国際大会で、「最優先事項」として、世界の子どもたちに「ポリオのない世界を届ける」ことを約束しましたが、前年に歴史上初めて天然痘が根絶されたのもきっかけの一つでした。ポリオが根絶されれば、史上2番目に人類が根絶した疾病となります。その後RIがWHOにポリオ根絶を呼びかけましたたが理解を得られず、単独でワクチン接種を開始。1985年に全世界でポリオ根絶をめざす「ポリオプラス・プログラム」開始し、1988年、WHOでポリオ絶滅が決議されGPEIが立ち上げられました。

ウイルスがどの部位を侵したかで症状は異なり、脊髄が侵されると下肢が麻痺、上部よりウイルスが侵入すると上肢、横隔膜など呼吸筋が麻痺し、延髄が侵されると呼吸の中枢が麻痺します。

皆さんは「鉄の肺」(Iron Lung) 1928年～をご存じ

ですか？患者の首から下を気密タンクに入れ、圧力を下げて肺を広げ酸素を入れる、ポリオのために生まれた人類初の陰圧式の人口呼吸器です。この機械、入ってしまうと何もすることができません。



そんな「鉄の肺」に入れられた子どもたちが「楽しみ」にしていたことがあります。何だと思えますか？それは絵本です。しかし、裕福な家の子、家が遠い子は、看護師不足もあり、なかなか読んでもらえませんでした。そんな子たちの楽しみは何だったと思えますか？それは「思い出」です。病気になるまで、機械に入れられるまでは、他の子どもたちと楽しく遊ぶことができた。それを何度も何度も思い出すことが唯一の楽しみだったそうです。この上なく退屈で、痰など排泄物除去のため気道を切開され話もできず、汚物の処理を頼むことも出来なかった。表情だけでコミュニケーションを図ったが、友達ができるたびにその子は死んだ、と言います。鉄の肺が開発されるまでポリオの死亡率は30%を超えていました(延髄ポリオに至っては死亡率90%)。しかし鉄の肺に入った患者も80%が死亡したそうです。現在の陽圧式人工呼吸器の登場により、死亡リスクは大幅に減少し、また、ポリオ患者の身体の自由も飛躍的に向上しました。しかし、世界には設備・物資や知識の不足により、「あなたは他の子と遊んではいけません」と、障害を持つ子が遊んだり、学んだりする機会が妨げられる地域が存在します。

ポリオ根絶まで「あと少し」。人類が世界から根絶したのは天然痘1つだけで、病気を地球からなくするのは難しい。あと0.1%、しかしそれを0%にするのがとても難しい。なぜなら、ポリオは「単なる医療課題」ではないからです。武装勢力等による妨害でワクチン接種に従事する人々を殺害する妨害活動もありました。「米国によるスパイ活動」、「イスラム教徒を不妊にする陰謀」等の主張、宗教指導

者が不妊の原因になっていると言いついに子供にワクチンを接種させない親がいたこともありました。そんな中、ナイジェリアでは国際的な協力と理解が進み、近年ついに根絶が実現しました。しかし、アフガニスタンやパキスタンに生まれた子どもたち、経口生ワクチンしか接種できない開発途上国に生まれた子どもたちは、今もポリオによって小さな身体にまひを発症し、友だちと楽しく遊ぶはずの時間や、将来の夢を奪われ、今後何十年にもわたり障害に苦しまなければならないかもしれません。それでもなぜ今も支援が必要なのか。ワクチンは発症国のみに必要なのではなく、毎年全ての国の新生児に必要です。(日本でもワクチン接種費用は毎年100億円を政府が支出)多くの開発途上国はワクチンの資金もなく、医療機関や接種を行う人材も揃っていません。それらの国へ毎年4億人の子どものワクチン購入や、輸送費、接種する人たちへの支援、ウイルス検知の監視活動などに資金が充てられます。世界では新生児増加で今はワクチン接種の資金が最も必要です。発症者が少ないからといってこの活動をやめてしまえば、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体まひになると言われます。2022-2026の新しいポリオ根絶戦略が進められています。

当クラブでも全体事業(例会)として、10/21(土)に世界ポリオデーin大宮を開催します。

- ①1個で子ども7人のワクチンとなる「End polio ポップコーン」販売
  - ②米山学友・米山奨学生の母国料理の屋台「アジア屋台フェア」
  - ③販売時にポリオ根絶パンフレット配布
  - ④ポリオ根絶動画作成(米山学友)、プロジェクトマップでパレスホテルの壁面に投影。動画のエンディング部分に協賛広告を投影、協賛金を募集
  - ⑤ソニックシティビルをポリオカラー赤色でライトアップ
  - ⑥西口ペDESTリアンデッキにのぼり旗を立てPRおよび募金
- ※売上および協賛広告料はすべてポリオへの寄付金とします。

なお「米山学友会との共催」を行い、事業にインパクトを与え、地区米山奨学生の協力を得て、販売・募金の効果や集客力のアップ、ロータリーへの理解や奉仕精神の萌芽、メンバーの米山に対する理解促進につなげます。

最後に。単なる医療課題ではないポリオの根絶には、

かつてのナイジェリアのように国際的な協力や理解、すなわちロータリーの目的にある、国際理解・親善・平和の推進が必要です。しかしそれは、現実的に私たちがいまどうにか出来ることではないかもしれません。いま私たちに出来ること、それはこの活動を一人でも多くの人に知らせること、そして一人でも多くの子どもたちにワクチンを届けることではないでしょうか。子どもたちに、「ポリオのない」世界を。その実現には、皆さんの力が必要です。

